

タイトル 「思いやりの心を育てる」ゲーム？！

チーム名 おれんじ

メンバー

京都大学医学部人間健康科学科
城田 優・谷河 杏介・富成 麻帆・中嶋 莉沙

自主調査実績

- ・訪問看護ステーションやデイケアでの実習
- ・小規模多機能施設での実習
- ・認知症カフェおれんじでの聞き込み

課題

認知症の知識を得る機会が少なく、
認知症の方に対する接し方が分からない。

解決策

認知症の対応方法を学べるすごろくゲームを小学生と
する！

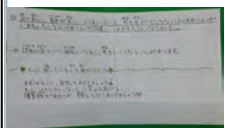
プラン概要



↑すごろく実物(1)



↑ポイント(2)



↑勉強カード(3)



↑ハートカード(4)

イントロ→10min
ゲーム→30min
まとめ→5min で
道徳や総合の授業も
しくは図書館などのイ
ベントで1チーム5-6人
で取り組む。

～ゲームルール～
すごろく(1)をすすめると、
1～5の”ポイント(2)”がある。
そのポイント毎に、”勉強カード(3)”を読む！

※勉強カードには、①エピソード②認知
症の簡単な症状③対応方法が書かれ
ている。

勉強カードを読むことで、認知症の対応
方法を学ぶことが出来る！

ポイントからの次の6マスは、エピソード
に対する対応方法が書いてあり、良い対応をし
た人は”ハートカード(4)”をもらえる。

このゲームを実際1回行った！(10/25)



【反省点】
長すぎた。
→現在、改良中。。

←その時の様子

現在、
i. 精華町認知症キャラバン・
メイト
→日程調整中
ii. 京都市立西院小学校
→来年1月小5,153名に実施！



現在もなお、上2か所の他、3か所に
連絡をとっている。また、ゲームを広める
ため、物品すべてをPDF化中。

目標：子どもたちが接し方を学び、考え、
ひとを思いやる心を育むこと！

